

放射能等災害対策特別委員会記録

| | |
|------------|--|
| 日 時 | 平成 25 年 9 月 6 日 (金) 午後 2 時 43 分～午後 2 時 57 分 |
| 場 所 | 第 4 委員会室 |
| 出席委員 | ◎山内弘一 ○武藤美津江 海老原久恵 上橋 泉 後藤浩一郎 小泉文子 小松幸子 末永康文 戸辺 実 日暮栄治 宮田清子 山下洋輔 山田一一 |
| 委員外出席者 | なし |
| 欠席議員 | なし |
| 説明のため出席した者 | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|----|--|----|--|----|--|-----|--|--------|--|--------|--|----|
| 委員長 | | 局長 | | 次長 | | 課長 | | 副参事 | | 統括リーダー | | 担当リーダー | | 担当 |
| | | | | | | | | | | 夕 | | 夕 | | |
| | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | |

午後 2時43分開会

○委員長 ただいまから、放射能等災害対策特別委員会を開会いたします。

○委員長 このたび副委員長が委員を辞任され、ただいま副委員長が欠員となっております。直ちに副委員長の互選を行います。

お諮りいたします。

互選の方法は指名推選、投票のいずれの方法により行いますか。

〔「投票」と呼ぶ者あり〕

○委員長 それでは、投票により委員長の互選を行います。

ただいまの出席委員数は13名であります。

投票用紙を配付いたさせます。

〔配付〕

○委員長 投票用紙の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長 投票箱を改めさせます。

〔点検〕

○委員長 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は、単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、順次投票願います。

〔投票〕

○委員長 投票漏れありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

立会人は、先例により、2名とし、私から指名いたします。

立会人に山下洋輔君及び小松幸子さんを指名いたします。

よって両君の立ち会いを願います。

〔開票〕

○委員長 投票の結果を報告いたします。

投票総数 13票

これは先ほどの出席委員数に符合いたしております。

そのうち

有効投票 11票

無効投票 2票

有効投票中

武藤美津江さん 10票

後藤浩一郎君 1票

以上のとおりであります。

よって最多数を得ました武藤美津江さんが副委員長に当選しました。

ただいま副委員長に当選されました武藤美津江さんに就任の御挨拶をお願いいたします。

○武藤 初めてこの委員会で委員になったばかりで副委員長ということで、重大な責任を感じています。皆さんの御協力をよろしくお願いしながら、精一杯頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○委員長 副委員長と交代いたします。

○副委員長 委員長、末永康文君より委員長の辞職願が提出されております。この際、委員長辞職の件を議題とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長 御異議なしと認めます。よってさよう決しました。末永康文君に退席を求めます。

〔退席〕

○副委員長 事務局職員をして、その辞職願を朗読いたさせます。

〔朗読〕

○副委員長 お諮りいたします。末永康文君の委員長辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長 御異議なしと認めます。よって末永康文君の委員長辞職を許可することに決しました。末永康文君の除斥を解きます。

〔入場〕

○副委員長 この際、委員長を辞職されました、末永康文君に挨拶を許します。

○末永 放射能等災害対策特別委員の皆さん御協力ありがとうございます。東電を呼びつけて一応話をする事ができましたことや被災地の南相馬市、現地に足を入れて本当に悲惨な状況を目の当たりにしてきたことは、我々もしっかり、もっと放射能に対する認識を新たにしなければいけないと同時に柏のホットスポットという地域でありますから、この対策委員会は、もっと力を発揮しなければいけないと感じたところ、皆さん方の御協力をいただいてこの1年間ある程度いろいろな意味で前向きに成果が上がった部分、または足りない部分ありますけれども、皆さんの御協力により進められたことについては感謝申し上げたいと思っております。ありがとうございました。これからも1年間委員会に残りますので、委員長、副委員長になられた方を補佐しながらしっかりと放射能等災害対策特別委員会を盛り上げていきたいなと考えているところで。ありがとうございました。（拍手）

○副委員長 ただいま委員長が欠員となりました。

これより委員長の互選を行います。

お諮りいたします。

互選の方法は指名推選、投票のいずれの方法により行いますか。

〔「投票」と呼ぶ者あり〕

○副委員長 それでは、投票により委員長の互選を行います。

ただいまの出席委員数は13名であります。

投票用紙を配付いたさせます。

〔配付〕

○副委員長 投票用紙の配付漏れはありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長 投票箱を改めさせます。

〔点検〕

○副委員長 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は、単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、順次投票願います。

〔投票〕

○副委員長 投票漏れありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

立会人は、先例により、2名とし、私から指名いたします。

立会人に山下洋輔君及び小松幸子さんを指名いたします。

よって両君の立ち会いを願います。

〔開票〕

○副委員長 投票の結果を報告いたします。

投票総数 13 票

これは先ほどの出席委員数に符合いたしております。

そのうち

有効投票 11 票

無効投票 2 票

有効投票中

山内弘一君 9 票

宮田清子さん 2 票

以上のおりであります。

よって最多数を得ました山内弘一君が委員長に当選されました。

ただいま委員長に当選されました山内弘一君に就任の御挨拶をお願いいたします。

○山内 やっと肩の荷が下りたところで、また委員長という大役を授かりまして考え

直しました。今災害いつ起こるかわからない。この夏も干ばつ、集中豪雨があちこちで起こり、また竜巻というこんな状況で、放射能だけでなくいつ何が起こるかわからないという思いでありますので、そのときには一生懸命頑張っておきたいと思っておりますのでどうぞ御協力のほどよろしくお願いいたします。（拍手）

○副委員長 委員長と交代いたします。

○委員長 以上で放射能等災害対策特別委員会を閉会いたします。

午後 2時57分閉会